

2016年2月22日

公立那賀病院 院長

中尾大成 殿

紀の川市難病患者家族会 きほく

会 長 神森和子

日本リウマチ友の会 和歌山支部

支部長 南川明美（公印略）

要 望 書

リウマチ内科医師招聘とリウマチ内科診療再開について

平素は那賀地域の拠点病院として重要な役割を担っていただいていますことに心より感謝申し上げます。

さて、那賀病院におけるリウマチ内科は地域のリウマチおよび膠原病等の自己免疫疾患患者（きほく会員は45名中11名＜約25%＞が自己免疫疾患患者です）にとってなくてはならない専門科でありましたが、昨年12月28日を以て閉科状態にあります。

患者のほとんどは専門医のいる遠い和歌山県立医科大学付属病院へ通院を余儀なくされています。とりわけ県内北部の患者は精神的肉体的に不安定となり症状が悪化しているのが現状であります。

つきましてはリウマチ内科医の招聘をお願いしますとともに、早期のリウマチ内科の再開を心よりお願いする次第でございます。

財政的な問題や専門医の減少もあるとは存じますが、どうか患者の現状をご勘案いただき、何卒よろしくお取り計らいのほど伏してお願い申し上げます。